
第4章 計画の基本的な枠組み

1 基本理念

つながろう みんなのちから！発揮しよう くわなの子育て力！

～すべては子どもの笑顔のために～

桑名には、自然、伝統文化、農水産物、工芸技術、人と人とのつながりなど、世界に誇れる「本物」があります。それを背景に生まれ育った、くわなの子どもたちの笑顔は、保護者や家族を笑顔にし、ひいては地域に活力を与えます。

子ども・子育て支援に関するニーズ調査の結果、多くの保護者が、子育てや子どもの発達に不安を抱えながらも、子どもの存在が自分の人生や生活を楽しく豊かにし、生きがいになっていることがわかりました。

しかし、全国的にみると、子どもが被害者となる傷ましい事件や事故は後を絶つことなく、桑名市においても同じようなことがいつ起こるかわからないのが現状です。

くわなの子どもたちが周囲の愛情に包まれながら、ここに生まれ、育ってよかったと実感でき、笑顔にあふれるまちづくりが実現するよう、子どもの育成や子育ては社会全体で取り組む重要な課題であるという認識のもと、市民一人ひとりが、子どもたちの健やかな育ちを第一に考え、地域住民、学校、教育・保育施設、企業、行政等が、ともに支え合い、協力・連携して活動しなければなりません。

本計画においては、第1期計画の基本理念を継承し、市民はもとより本市に関わる全ての人が、子どもの笑顔があふれるまちを目指し、それぞれの力を結集して子ども・子育て支援に取り組む体制づくりに努めていきます。

そして、これらの取組みによって、桑名市の掲げる「全員参加型の市政」、「こどもを3人育てられるまち」並びに子ども・子育て支援の「本物力」を目指していきます。

2 基本的な視点

本計画は、未来の桑名を担う子どもたちと、その子どもを育てる親・家庭を、地域全体で見守り支えるための指針です。2004（平成16）年度に策定した「桑名市次世代委育成支援行動計画」から連綿と続いている計画であり、〈子ども〉〈親・家庭〉〈地域〉の3つの視点に立って、内容を検討し策定します。

視点1 子ども

本計画の主役は、未来を担う子どもたちです。子どもの主体性を重んじ、その意見や声にできる限り耳を傾け、子どもの視点に立った取組を進めます。また、次代の親づくりという視点に基づき、豊かな人間性を形成し、自立して家庭を持つことができるよう、長期的な視野に立った取組を進めます。

視点2 親・家庭

子育てに対する負担や不安、孤立感を感じることなく、すべての親が喜びや生きがいを感じながら安心して子育てができるよう、出産前から切れ目なく見守り、適宜必要な支援を行うことにより、親・家庭の視点に立った取組を進めます。

視点3 地域

子育ては、親・家庭だけではなく、地域住民、企業、行政等が、「子どもの育ちと子育て支援は社会全体で取り組む重要な課題である」という共通認識を持ち、協働して取り組むことが重要です。地域のさまざまな主体の役割を明確にし、連携と協力による地域の視点に立った取組を進めます。

3 基本目標

基本理念の実現を目指し、3つの基本的な視点から施策の基本目標を設定し、その達成に向けて施策を展開していきます。

基本目標1 子どもの健やかな成長を見守り支える

全ての子どもたちが笑顔でいられるよう、母親のお腹の中にいる時から生まれて成人に至るまで、きめ細やかな保健・医療により見守られる体制を整えていきます。

そして、子どもたちが家庭において愛情を感じながら育つことの大切さを認識した上で、子どもの豊かな心と生きる力を育むための教育や取組を推進していきます。また、心身の障害や国籍等により特別な対応が必要な場合でも、個々の状況に応じた支援がなされるよう配慮します。

さらに、全ての子ども的人格と権利が尊重され、桑名に生まれたことに喜びと誇りを感じられるまちを目指します。

<施策の方向性>

- (1) 生まれ育つ子どもへの健康支援
- (2) 子どもの健やかな育ちを支える環境づくり
- (3) 特別な支援を要する子どもへの支援
- (4) 将来の親となる子ども・若者等への支援
- (5) 子どもの人権を守るための取組

基本目標2 子育て中の親・家庭を見守り支える

子どもが笑顔になるためには、保護者をはじめ子どもを取り巻く大人たちの笑顔が必要不可欠です。保護者が自信を持って子育てに取り組むことができ、そこに喜びや希望を見いだせるよう、保護者の自己肯定感を高められるような“親育ち”の支援を行っていきます。

また、保護者の孤独・孤立、さまざまな不安から発せられるSOSを漏らさずキャッチする〈相談〉の体制と、救いの手を差し伸べる〈情報提供〉の仕組みを推進していくとともに、子育て家庭を支える総合支援拠点の整備を進めます。

さらに、働きながら子育てをしている保護者が、より生活の質を高めるには、男女がバランスよく子育てと仕事を行うことが大切であり、それによって、地域社会全体が活気に満ち豊かになります。仕事と生活の調和が図られるよう、市民意識の醸成、支援体制の充実、地元企業等への協力要請等環境を整えていきます。

これらの取組によって、全ての保護者が、子育てを楽しむことができ、ここで子育てして良かったと思えるまちを目指します。

<施策の方向性>

- (1) 保護者の子育て力を育て支えるための支援
- (2) 子育てを支援する環境づくり
- (3) 子育て家庭を支える相談体制の充実
- (4) 支援が必要な家庭を支える体制づくり

基本目標3 地域全体で子どもと保護者を見守り支える

子どもたちの声は、やさしく響き、地域に活気を与えます。子どもたちの存在は、地域全体を明るく輝かす光です。桑名には、豊かな自然や長い時間をかけて守り育んできた誇るべき文化・伝統、人と人とのつながりがあります。これらを背景に生まれ育った桑名の子どもたちを地域ぐるみで見守り、地域全体を安全・安心の居場所としていくとともに、子どもを中心とした世代を超えた交流を通じて住民同士が信頼を深め、地域における支え合い・助け合いの新しい形が形成されるよう支援していきます。

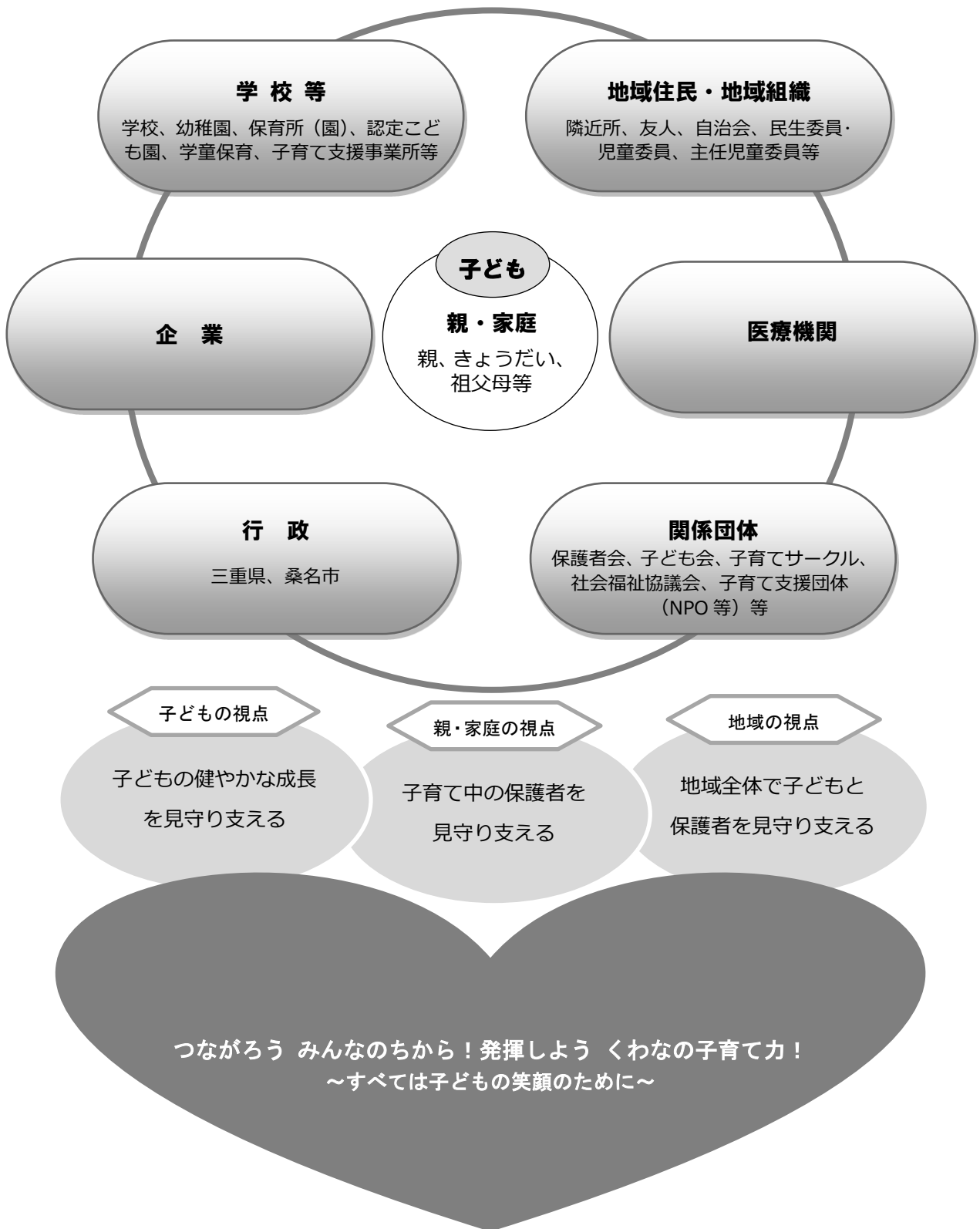
また、公立・私立の幼稚園、保育所（園）、こども園をはじめ、地域にあるさまざまな資源の有する能力が、子どもたちのために最大限発揮されるよう、地域の協力体制を構築していきます。

そして、地域ので子育てを支援することにより、地域全体が成長できるまちを目指します。

<施策の方向性>

- (1) 地域で子どもの育ちを支える体制の推進
- (2) 地域・支え手を支える環境づくり
- (3) 地域の身近な子育て支援の環境づくり

＜桑名市の目指す子ども・子育て支援のイメージ＞



体系図は資料4を参照